



UCHINADA

町議会Eメールアドレス gikai@town.uchinada.ishikawa.jp
町ホームページ <http://www.town.uchinada.ishikawa.jp>

七夕に願いを込めて (向粟崎保育所)

うちなだ

議会だより

議長に堂下 清孝氏 2

6月定例会 議案審議 4
機構改革に着手

常任委員会レポート 7

いっぱい質問 10

ありゃーどうなったがいねー 19

Vol.82

平成17年 [2005]
7月20日発行

〒920-0292
☎076-286-6715 FAX076-286-6711
石川県河北郡内灘町大学1丁目2-1
発行：内灘町議会
責任者：議長 堂下 清孝
編集：議会広報対策特別委員会

再生紙を使用しています

6月

定例議会

9日～17日

議長に

堂下 清孝 氏



内灘町総合体育大会開会式

6月9日の本会議初日に中川 達議長が辞職したことに伴い、投票による選挙を行った結果、新議長に堂下清孝氏が選ばれました。

堂下清孝議長のプロフィール

議員活動歴 副議長をはじめ、産業建設常任委員長、公共下水道建設・決算・議会広報対策の各特別委員長などを歴任。9期

家族 妻、次男の3人家族

趣味 将棋

信条 万人は1人のために、1人は万人のために

議会運営委員会



清水文雄、中川 達、田中祥次、◎米田 満、○黒田泰三、野村輝久の各委員と堂下清孝議長
 (◎は委員長、○は副委員長)



中嶋敏正氏(大根布)



夷藤 満氏(向栗崎)

内灘町農業委員会委員
 に夷藤満氏、中嶋敏正
 氏を議会より推薦。



三松梅治氏(鶴ヶ丘)

固定資産評価審査委員会委員



金丸 勲氏(大根布)

監査委員

監査委員および固定資
 産評価審査委員会委員
 の選任に同意。



小谷一也氏(鶴ヶ丘)

内灘町青少年問題協議
 会委員に、小谷一也氏。

を増やし4部9課9室に改正

3原則を胸に

住民参加、情報公開、現場主義のまちづくり予算

町長提出議案では、16年度各会計補正予算5件、17年度各会計補正予算9件のほか、条例など16件を審議し、すべて原案のとおり可決しました。町政一般質問では8人が登壇し、町の考えをただすとともに、請願・陳情については、採択3件、継続審査3件とし、議員提案による意見書2件、条例改正1件を可決しました。

一般会計

平成17年度補正予算において、2億4千470万円を追加し、予算総額を72億8千970万円としました。（賛成16人（反対1人））

主な歳出

総務関係

●町ホームページを一新し、管理運用するシステムの導入、ケーブルテレビの9チャンネルに放映する広報番組制作費等に、520万円を計上。

●個人情報の漏えいを防止するシステムの導入、庁舎内ネットワークの光ケーブル整備等に、524万円を計上。

●男女共同参画事業として、推進委員会費、町民意向調査等に152万円を計上。

●各地区の自主防犯組織育成補助金（活動費の2分の1助成、限度額5万円）として、40万円を計上。

民生関係

●内灘町子育て支援センター開設費、少子化を考える石川サミット負担金、保育所民営化検討委員会費等に、573万円を計上。

●福祉センター浴場ボイラーの取替え工事、福祉センターバス停の改修工事等に、1千20万円を計上。

●町立保育所の土曜日保育時間の延長試行費（緑台保育所）、保育所の施設整備費等に、930万円を計上。

●学童保育クラブの土曜日保育時間の延長試行費（鶴ヶ丘学童クラブ）、清湖学童クラブの冷暖房設備設置工事費等に、246万円を計上。

●保健センターの耐震診断調査費、冷暖房設備改修費、検診室改修費等に、2千674万円を計上。



内灘町保健センター

機構改革に着手1部1課

宮坂公民館 基本設計費計上



宮坂公民館

産業・土木関係

●(仮称)内灘海岸砂丘地活性化検討委員会費、海浜整備調査委託料等に、199万円を計上。

●準幹10号線(内灘高校横)道路改良事業にかかる土地購入費として、1千941万円を計上。

●向粟崎地区街なみ環境整備の調査測量設計委託料等として、450万円を計上。

教育関係

●総合型地域スポーツクラブ「プラットフォーム」への活動補助金として、300万円を計上。

●向粟崎小学校のフェンス改修、大根布小学校の緊急放送施設改修、西荒屋小学校の保健室改修等に、1千300万円を計上。

●中学校の暖房用真空ポンプ・温水ポンプ取替工事、職員室にサーバー機器を設置する費用等として、365万円を計上。

●室公民館のトイレ改修工事ははじめ、各地区公民館の修繕費、宮坂公民館建設基本設計委託料等に955万円を計上。

特別会計

●公共下水道事業費として、湖西地区面整備実施設計、大根布バイパス水路建設等に1億4千500万円を計上。(全員賛成)

●霊園の案内看板等の設置費として、680万円を計上。(全員賛成)

●国民健康保険の被保険者証をカード化する費用として、60万円を計上。(全員賛成)

●住宅用太陽光発電システム設置補助(単価4万5千円、上限18万円)として、90万円を計上。(全員賛成)

水道事業会計

●宮坂第2ポンプ場建設、石綿セメント管更新事業等に3億1千944万円を計上。(全員賛成)

条例

●地方税法の改正により、個人町民税の人的非課税から、65歳以上の者に適用される非課税限度額を廃止。(全員賛成)

●3部8課8室から4部9課9室とする機構改革により、部の設置および分掌事務を規定する内灘町部制条例を制定。(賛成15人(反対2人))

●子どもの健全育成と子育て世代の支援を行うため、子育て支援センターの設置に必要な事項を制定。(賛成16人(反対1人))

契約

●鶴ヶ丘小学校体育館耐震補強・大規模改修工事7千137万円の契約。(賛成14人(反対3人))

●室地区污水管きよ築造工事8千977万円の契約。(全員賛成)

開発特別委員会

大京との開発協定の期限を3年間延長

- 内灘町と(株)大京が交わしている開発協定は、供用開始期限の最終延長の申し出があり、総合的な判断のもと了承、町は、早期の事業展開を目指し、(株)大京および現在のキーテナントであるイオン(株)に要請を行っています。
- 準幹10号線（内灘高校横）道路建設予定地、着工中の宮坂南線の現地視察を行いました。



準幹10号線（内灘高校横）の現地視察

河北潟環境対策特別委員会



大根布バイパス水路の現地視察

雨水排水対策

大根布バイパス水路の建設に着手

大根布排水区は、内灘町で最も浸水被害が集中しており、早急に対策を導入すべき地区となっています。

浸水の原因は、高地区の宅地開発等による雨水流入量の増大や田の貯留機能が減少したため、ポンプ排水能力が不足していることにあります。

本地区の対策として、高地区の一部をバイパス水路により直接排水することに合わせ、公共施設などに浸透・オンサイト貯留施設を設置し、雨水流入量の抑制を図るものです。

6月定例会において、大根布地区のバイパス水路建設費として、7,300万円が計上されました。

米田 満河北潟環境対策特別委員会委員長の辞任に伴い、委員長および副委員長の互選が行われ、委員長に中居 治委員、副委員長に夷藤 満委員が選ばれました。



夷藤 満 副委員長



中居 治 委員長

シュレッダーの台数は十分あるか

総務常任委員会



庁舎5階に設置されているシュレッダー

Q 図書購入寄附金について、寄付者の善意の意向が反映されず、図書購入が年度末までされなかったのは、

今後、寄附金を収納した時は、歳出予算の措置について特に留意したい。

A 今後は庁内チェック体制を強化し、寄付者の意向を素早く予算執行に反映させるよう、寄附金を収納した時は、歳出予算の措置について特に留意したい。

Q 町会、地区の財産で、便宜上、町の名義になつているものについては、地縁団体の設立を促進し、速やかに本来の名義人に返還すべき。

区長町会長での会合で趣旨を説明し、必要がある地区や町会に対しは地縁団体の設立を促し、設立され次第、手続きを取りたい。

A 区長町会長での会合で趣旨を説明し、必要がある地区や町会に対しは地縁団体の設立を促し、設立され次第、手続きを取りたい。

Q 個人情報保護制度の導入に伴い、電子文書に対するセキュリティ対策は徐々に整備できているが、執務室における書類の山をみると、ペーパーに対し十分できているとは思われないし、シュレッダーの台数は十分であるとは思えないが、どんな対応をするのか。

個人情報保護制度の導入に伴い、電子文書に対するセキュリティ対策は徐々に整備できているが、執務室における書類の山をみると、ペーパーに対し十分できているとは思われないし、シュレッダーの台数は十分であるとは思えないが、どんな対応をするのか。

A シュレッダーは3台あるが、別途、施錠された機密書類の廃棄場所を利用し、大量な廃棄には対応できる仕組みを採っている。環境への配慮と機密文書の始末について総合的に検討し、シュレッダーの台数についても合わせて考える。これとは別に、文書管理の面では不用意に書類を山積みしておかないよう周知、これに努める。

シュレッダーは3台あるが、別途、施錠された機密書類の廃棄場所を利用し、大量な廃棄には対応できる仕組みを採っている。環境への配慮と機密文書の始末について総合的に検討し、シュレッダーの台数についても合わせて考える。これとは別に、文書管理の面では不用意に書類を山積みしておかないよう周知、これに努める。

Q 防犯と交通安全推進隊の定数について、規則では推進隊の定数は130名となっているが、幅をもたせた方が運用し易いのではないか。

定数に幅をもたせることについては、その他問題がないか検討したい。

A 定数に幅をもたせることについては、その他問題がないか検討したい。

Q 機構改革について、いろいろな委員会を立ち上げるのだから、その委員会を先行させた上で機構を変えれば良いのではないか。

新しい町づくりを行なうという時に、自分たちの決意を込めた意味で、新たな組織作りに対して皆さんに提案した、その中で目的に向かって進んでいきたい。

A 新しい町づくりを行なうという時に、自分たちの決意を込めた意味で、新たな組織作りに対して皆さんに提案した、その中で目的に向かって進んでいきたい。

新しい町づくりを行なうという時に、自分たちの決意を込めた意味で、新たな組織作りに対して皆さんに提案した、その中で目的に向かって進んでいきたい。



八田外茂男、重原義之、◎清水文雄、○北川 進、南 守雄、堂下清孝（◎は委員長、○は副委員長）

緑台保育所の土曜日の時間延長



かぶと虫を観察（緑台保育所）

Q 内灘高校の創立20周年記念事業に対して、50万円の補助金が計上されているが、算定の根拠はどうか。

A 高校より要望があり補助することにしたが、事業内容の1つに創立20周年の記念誌を約100万円で発行するため、半分の50万円を助成する考えで予算を計上したものの。

Q 介護認定審査会の委員は医師で構成されているのか。また、報酬はいくらとなっているのか。

A 医療、保健、福祉の学識経験者15名で構成されており、1チーム5名の3合議体により交代で審査を担当している。平成16年度は、審査会を31回開催し、813件の審査判定を行っている。報酬は、医師が1万6千円、医師以外の人は1万3千円となっている。

Q 国民健康保険の給付費（医療費）は年々増加しているが、国や県は対策を考えているのか。

A 市町村単位の保険者機能について、国では都道府県単位や大きな市町村単位で広域化する改革を検討している。

Q 土曜日の保育時間延長の試行として、緑台保育所を選んだ理由はなにか。中途半端でなく、全保育所で延長保育を実施すべきでないか。

A 保育時間を午後2時から基本的に午後6時まで延長するもので、緑台保育所を選んだ理由は、緑台保育所の利用率が一番高く、利用人数も多いため決めた。モデルケースとして1箇所を試行し、状況を勘案しながら来年4月から全保育所での実施を考えていきたい。

Q 「少子化を考える石川サミット」が10月22日に内灘町文化会館を主会場に開催されるが、かほく市や津幡町も参加して広域的に実施するのか。また、開催するメリットはあるのか。

A 広がりをもたせ10万人規模で開催したいため、内灘町を主会場に実施されるが、かほく市や津幡町でも分科会を開催することになっている。このサミットは、魅力的なものになると確信しており、少子化についての情報を内灘町から広く発信したいと考えている。



黒田泰三、中居 治、◎中川 達、○小谷一也、野村輝久、渡辺 旺（◎は委員長、○は副委員長）

海水浴場の安全対策

産業建設常任委員会



にぎわう内灘海水浴場

Q ビーチクリーナーの稼働状況は。

A 4月に6日間・9月に6日間の合計で12日間稼働した。

Q 消雪ノズルの清掃委託の発注内容を変えたのか。

A 定期的な巡回清掃としていたのを、ノズルが目詰まりしたら清掃することにした。

Q 町営住宅の広さ、家賃は。

A 3階建てで12世帯入居でき、間取りは3LDKとなっている。単身者は入居できない。家賃は、近傍同種の住宅家賃を上限としている。

Q 内灘海水浴場を、皆さんが利用しやすいようなエリア分けが出来るのか。

A 水上バイク・サーフィン等のエリアを、町で看板または杭を設置する。

Q 内灘高校横の準幹10号線の完成はいつか。

A 17年度・18年度に用地買収、19年度より工事に着工し完成は20年度を予定している。

Q 住宅用太陽光発電システム設置補助金を、今年度5軒を見込んでいるが、今後はどうなるのか。

A 自然エネルギーの推進ということで今後進めて行く。

Q 緑台地区の石綿セメント管の布設替え工事に伴っての側溝・舗装の修繕を考えているのか。

A 老朽化が進んでいる箇所もあるので、舗装等については道路管理者と調整し、財源を見ながら対応して行く。

Q 蓮湖渚公園が水浸しになることはないのか。

A 雨水の調整機能を持った浸水池を設けて、調整しながら幹線排水路に流し大根布ポンプ場から強制排水するので水浸しにならない。



夷藤 満、中村哲彦、◎田中祥次、○能村憲治、米田 満、水口裕子 (◎は委員長、○は副委員長)



中村 哲彦 議員

海水浴客の安全を守れ

中村 哲彦議員

検討委員会を設置する

八十出町長



砂利採取が進む宮坂南線

中村 内灘海水浴場利用者の深夜の騒音や交通渋滞が心配だ。海水浴客の安全を守るため、水上バイクやサーフィン、遊泳者の場所の設定確保など、夏のシーズンには、水難事故対策が必要。

町長 海水浴シーズン前に関係機関で連絡会議を開催し、対応策を協議してトラブルや苦情が発生しないよう、浜茶屋組合と連絡調整をし、地域住民が安全で安心できるように対応したい。海岸の活用は、行政機関や関係者、町民から公募し、検討委員会を設置し、活性化計画案を作成したい。

町広報に 委員の氏名を

中村 「鶴ヶ丘小学校の体育館耐震工事は、日業者が落札することになっている。」という手紙が届いた。

今後、開かれた町政を執行するにあたり、町の広報などで指名審査委員会の組織などを記載し、町民に示す責任があると思うが、審査委員長の見解を聞きたい。

検討して いきたい

米田助役 組織の広報への掲載について、内灘町指名審査委員会は、同委員会規程として、町の例規集にも記載されている。

指摘のとおり、「広報うちなだ」等への掲載も含めて検討していきたい。
中村 宮坂南線の工事はどのような工程で砂利採取を進め、道路の完成年度はいつか。

産建部長 道路部分の砂利採取期間は1年、道路築造は2年から3年ぐらいかかる。



田中 祥次 議員

いっばん

グループホーム建設は

田中 祥次議員

地域の皆さんに理解を

八十出町長

田中 千鳥台のグループホーム建設で地域住民と業者がもめている。

町長 選挙中のビラには「現町政はグループホームの施設に消極的。民間のグループホームの開設に積極的に取り組みます」と言いながら、いろんな面で迷惑をさせている。

この点をしっかりと町長は考えて対処せよ。

町長 何とか町民の皆さんに理解いただき、グループホームが開設できればいいと思っている。一番大事なのは、地域の理解を得て、一緒にやることだが、担当者が一生懸命頑張っている。決して逃げていくわけではないので、ご理解願いたい。

田中 グループホームは、業者と地域の問題、町は事情を把握し解決すべき。
町長 担当課長と相談し、機会をつくりたい。

町長のパフォーマンス

田中 7月からふれあいコーナーとして、1階ロビーに町長席を設け、1週間に1回、1時間か2時間ぐらい町民に会われているのでないか。
町長 同じ目線で会うことはすばらしいが、長野県知事と一緒に、町長のパフォーマンスでないか。

町長みずから行政相談

町長 町民の目線で、いろんな角度で会う機会を持つということ。7月から1週間に1回、2時間ぐらい「町長は皆さんの声をね、いつでも聞けるよ」という受ける態勢をつくるのが大切でないかと思う。

田中 この25年間で町人口が約2千人減るといふ新聞記事をどう思ったか。

町長 魅力ある地域に多くの皆さんに来てもらい、人口増を目指したい。

田中 厳しい財政のなか、いつ、どういう場所、2校化の実現を図るのか。

町長 県教育委員会、地域、学校、父兄の皆さんと真剣に議論をしていきたい。

田中 私が調べた限り、内灘高校の廃校説はないが、どこで聞いたのか。

町長 現在ある施設を利用するの思いで、内灘高校の利用方法を話した。

田中 一部、配偶者特別控除がなくなったが、子育て支援に手を差し伸べよ。

町民部長 定率減税の廃止なども視野に入れて、調査研究をしていきたい。

田中 機構改革で、1部1課増えるが、どれだけの経常的経費がかかるのか。

総務部長 若干人件費が必要になる、現在の職員の中で行つていきたい。

田中 金沢市との行政連絡会設置に、どういうメリットがあるのか。

総務部長 町民サービスの向上や行政経費の節減が図れないか議論したい。

田中 子育て支援センターと今の保育所は、どういう整合性があるのか。

町民部長 保育所にかかわらず、センターは全乳幼児を対象児童としている。

田中 子育て支援センターは、何人ぐらいの収容があり、年齢はどう定めているのか。

町民部長 乳幼児からおむね小学生ぐらいまでの子供を対象に考えている。

田中 指導する人材は、どういう資格を持った人なのか。

町民部長 センター職員は、保育士の資格を持つ方を配置したい。

田中 親育ちとは、誰が親を指導するのか。

町民部長 親の自発的な学びをセンターが支援できるものと考えている。

田中 ガラス張り通信が、イエローカードを出してきたが、将来の財政の方向性を示せ。

浅田収入役 町の金庫番として、健全財政を堅持するよう努めていきたい。

田中 町として、ケーブルテレビ導入に対する補助金を考えているのか。

町長 福祉、災害の面でもケーブルテレビは大切に、町としてできる限り応援したい。

田中 シルバー人材センターは、経常経費のむだ遣いにならないか。

産建部長 高齢者の方々に支援するもので、決して無駄でないと考えている。

田中 シルバー人材センターの設立で、雇用の要請、注文はあるのか。

産建部長 会員個人の特殊な能力、知識が求められれば要請があると思う。

質 問



能村 憲治 議員

指定管理者制度の導入

能村 憲治議員

来年度中の実現を目指す

米田助役

能村 法の改正で、公の施設の管理運営に指定管理者制度が設けられることになった。

来年8月末までに町が直接運営するか、この制度によって管理運営するか選択しなければならぬ。

制度を取り入れている先進事例は多くあり、町はどのような方向で取り組むのか。

助役 施設の性格及び設置目的等に照らし、町が直接管理している文化会館や公民館など指定管理者制度が適応されるのか整理したい。
町公共施設等管理公社 委託中のものは、法の改正趣旨により平成18年9月までに、公民館、公園など町が直接管理している施設についても来年度中の実現を目指したい。

能村 老朽化が進んだ施設を今後どのような形で運営していくのか。

助役 老朽化が激しい施設については、直接町が管理する。

介護サービス事業者の現状と今後は

能村 介護福祉サービスは、営利の事業者も交えた福祉ビジネスに変わってきている。

町は、福祉事業者の状況がわかる資料を作成し、これを公開すると同時に、サービスの適正化を監査していくことが求められている。

これらを含めた効率的な介護保険事業の運営に努めよ。

適正なサービスの供給が図れる

町民部長 保険料負担の状況等も勘案し、第3期介護保険事業計画に反映させたい。

介護報酬の請求は、石川県国民健康保険団体連合会に委託している。

来年4月より、市町村に立ち入りの権限が与えられるため、保険者としての機能の充実、指導体制の強化、適正な介護サービスの供給が図れる。

能村 収支不足から県の介護保険基金より多額の借金がある。これをどのように分析しているか。

町民部長 保険給付が計画を上回り、財源不足の要因となった。



創立5周年を迎えた「夕陽ヶ丘苑」

能村 予算を計上するに当たり、どのような施策に重点を置いたのか。

能村 桜や松、ツバキなど林帯遊歩道両側の整備が必要でないか。

八十出町長 子育て支援の充実、行財政の改革、教育環境などに重点を置いた。

産建部長 緑の空間確保に心がけ、各種団体等と連携し、植栽していきたい。



水口 裕子 議員

いっばん

多胎児育児に支援

水口 裕子議員

前向きに検討

八十出町長

水口 不妊治療が一般化してきた昨今、三つ子などの多胎児が生まれる確率が高くなっている。

これから親になる人のために支援体制をしっかりと決めてもらいたい。

また、健診に対する補助も胎児の数に合わせて、回数も多く受診できるように考えてもらいたい。

町長 ファミリーサポートや保育サポートなどの支援のためのマンパワーシステムの構築やベビーシッター派遣助成制度の充実などさまざまなものがある。

実施に向けて前向きに検討していきたい。

対話集会や出前講座を開け

水口 町長との対話集会を少人数でも、どんなテーマでも、概要を決めて広報し、皆さんと気軽に接してほしい。

町長と話し合い、町政について説明し、理解を得ることが参画から協働につながる。

また、各課から町民に身近なテーマを絞って、職員による出前講座を開け。

積極的に

取り組みたい

水口 裕子議員

町長 対話集会は、既に実施しており、少人数でも各団体の人たちとも対話に積極的に取り組みたい。

住民の皆さんのニーズに的確に対応するため、先進自治体の事例研究、職員の研修や意識改革も必要と考えている。

水口 職員の窓口対応等で得た情報を施策に活かすよう、職員提案制度を取り入れよ。

町長 職員提案制度は必要なものであり、実施を担当部署に指示している。

水口 町のホームページに、意見や思いをメールで送れるように改良せよ。

町長 今年度中に、ホームページを一新する予定であり改良していきたい。

水口 R D F製造施設「エコラ」のダイオキシンの検査の発表は。

町民部長 7月の町広報で行いたいと考えている。

水口 ニセコ町を目標に、協働のまちづくりに取り組んでもらいたい。

町長 協働のまちづくりを目指すに当たり、情報公開の推進と住民参加のまちづくりに努める。



サンセットパークで行われたキャンドルイベント

質 問



北川 進 議員

地域再生計画を国に申請せよ

北川 進議員

部署の垣根を超えて取り組む

産建部長

北川 海岸砂丘地の特色を生かし、観光振興の面から「砂丘地のまち 内灘」をアピールせよ。濱茶屋から放水路までの区間、防砂等も含め、1年じゅう利用できる道路に整備するため、地域再生計画の中に取り組み、国への認定申請も一案としようがどうか。

産建部長 町には内灘砂丘を初めとして十分地域活性化の資源がある。今後とも各部署の垣根を超えて各施策に取り組む。

地域再生計画に係る新交付金の活用は、可能かどうか検討したい。

マイ保育園 制度の導入を

北川 この制度は、新しいエンゼルプランに盛り込み、県の今年度の新規施策の中でも目玉事業に位置づけられている。今年度は、県内7市町で導入が予定されているが、この制度を早急に取り入れる考えはあるのか。

18年度実施に向け検討

町民部長 町では、県と連携をとりながら、本町の次世代育成支援地域行動計画をもとに、町の特性、地域特性を勘案しつつ、本年度先行実施する他市町の成果、問題点を調査整理して、18年度からの実施に向けて検討していきたい。



望まれる直線4車線化

八十出町長 ルートは確定し、平成19年度までに整備区間の指定を目指している。

北川 能登有料道路内灘料金所以南の直線4車線化の進捗状況は。

北川 内灘海岸砂丘地活性化検討委員会を全体計画の委員会に拡大せよ。

産建部長 海岸に限って考えており、別の組織で検討する必要がある。

北川 制度を取り入れた場合、町にどれだけの経費負担がかかるのか。

用語解説

「マイ保育園」制度とは

石川県が少子化対策の一環として、17年度よりスタートさせた制度です。妊娠時から近所の保育園に登録し、出産前からおむつ交換や授乳、風呂の入れ方などの育児体験ができます。また、出産後は、一時保育を無料で3回利用できる。今年度は県内7市町が参加する予定となっています。

用語解説

地域再生計画とは

地域経済の活性化、雇用の創造を実現することを目的に、意欲ある地方自治体が、地域の特性を踏まえ、構想を立案し、取り組みを行うものです。地方自治体が、国へ地域再生計画を申請し、国が認定すれば全面的に支援を受けることになります。

町民部長 具体的な金額については、実施に向けた検討の中で求めたい。



夷藤 満 議員

いっばん

管理公社の運営改善を

夷藤 満議員

福祉、健康増進の施設

総務部長

総務部長 経営努力が足りないという意見もあるが、厳しい社会情勢の中で収益を上げる努力を重ねている。
公共施設の管理運営は、合理化を図る観点から指定管理者制度の導入のなかで、民間委託も含めいろいろな角度から検討していきたい。

浜田教育長 2校化の背景となつている資料、生徒数の推移予測、2校化の先進事例の調査などの検討資料の収集、取りまとめを行っている。
部内でこれらの資料を取りまとめ、外部委員の入った組織を立ち上げる予定にしている。

資料をまとめ 早急に

このままの経営状態で赤字が続くと、町に大きな負担となることは間違いないが、何らかの方策が必要でないか。

また、教育長は、2校化を検討する組織を早急に立ち上げる旨の答弁は立ち上がったのか。

2校化検討

委員会は

夷藤 管理公社に委託している施設は、毎年多額の赤字を生み出している。財政が大変厳しい時代になつてきているので、民間に委託する時期に来ているのではないか。

夷藤 町長は、「近く中学校2校化実現のための方策を具体的に検討する組織を立ち上げ、議員や町民にも広く参加をいただき議論してまいりたい」と答弁した。

夷藤 中学校2校化について、どのような構想を描いているのか。

八十出町長 既存の施設を活用した2校化を目指し、時期をとらえて行動していきたい。

夷藤 不法係留に対する県の対応が遅い、早急に県に強く要望すべきだ。

産建部長 先進自治体の手法も含め検討するよう強く要望していきたい。

夷藤 係留予定地について、県から町に説明や話し合いが行われたのか。
産建部長 町に説明はないが、今後、詳細な説明、協議があると思つている。



管理委託されている公共施設

質 問

清水 文雄 議員



職員の健康管理を

清水 文雄議員

管理体制の強化を図る

総務部長



防犯パトロール（千鳥台）

清水 今、課題となつて
いる職員のメンタルヘル
スを含む健康障害の防止
労働災害の防止に対応し
切れない。
労働安全衛生法から見
てどのようにとらえてい
るのか、衛生管理者の選
任をどうするのか。
衛生委員会を定期開催す
べきでないか。

総務部長 職員が気軽に
相談できる体制づくりや
セルフケアを中心とした
取り組みだけでなく、心
の健康問題を解決してい
く上で、専門家による研
修も充実させる。
衛生管理者の選任、ま
た委員会の定期的な開催
を行うなど、安全衛生管
理体制の強化を図る。

自警団に対する マニュアルを

清水 自警団、防犯パト
ロールを実施する上で事
故やトラブル防止のため
の指導、マニュアル作成
が必要でないか。
警察の防犯自警団ある
いはパトロールへの情報
提供や連携、強化が望ま
れるが、警察の取り組み
はどのようになっている
のか。
交番の増設が町民の安
全・安心を守る上で重要
な課題でないか。

積極的に支援

総務部長 自主防犯ボラ
ンティア活動に対して、
町と警察は事前に活動に
おける注意事項を説明し
、マニュアルを示している。
警察からは情報の提供、
パトロール活動拠点への
立ち寄り、それからパト
ロールの強化という面で
積極的に支援を行うと聞
いている。

交番の増設については
改めて警察と相談したい。

清水 キャップ(CAP)
のプログラムの積極的強
力な推進が必要でないか。
浜田教育長 年一回、各
学校において、子供たち
と保護者を対象として
行っている。

清水 千鳥台4丁目から
鉄板道路へ抜ける通路を
確保せよ。

八十出町長 住民や千鳥
台町会と協議しながら、
整備について検討したい。

用語解説

CAP プログラムとは

CAPは「子どもへの暴力防止」と訳されます。子どもたちは、安心・自信・自由を生きるための大切な権利として学びます。「いやと言う」意思表示、「逃げる」ことにより身を守る、「誰かに話す」ことを伝え、寸劇や話の中で、子供たちと一緒に考えていく参加型体験学習です。

用語解説

メンタルヘルスとは

メンタルとは「心の・精神の」、ヘルスは「健康・保健」という意味で、一般的に「心の健康」と訳されます。身体はもとより心の問題も含め、充実した健康状態をめざすことです。



堂下 清孝 議員

いっばん

機構改革と予算は矛盾しないか

堂下 清孝議員

町民ニーズを行政施策に

八十出町長

堂下 町長部局の機構改革部制条例案が提示された一方で、予算案の中に新たに7つの審議会や検討委員会を設置している。審議会が答申もしないうちに、機構改革に走るやり方はいかがなものか。審議会の提言を受け、議会の各委員会とも十分相談し、よりよい改革に進むべきだ。

町長 一見すると行財政改革と逆行するようにも見えるが、真に町民が何を求めているか把握し、それに対応することが大切だと考えている。

町民の皆様の健康施設等々いろいろなニーズを把握し、きめ細かな行政施策に反映させたい。

医療費助成の年齢引き上げ

撤廃は難しい

堂下 子どもの医療費助成の充実度は、子育てしやすいの目安、子育て環境のバロメーターの一つだと考えている。

医療費助成の対象年齢を金沢市並みに小学校卒業まで引き上げるべきであり、同時に、千円の自己負担も撤廃すべきだ。

町民部長 医療費助成制度は、年齢的には小学校2年生まで対象とし、平成16年4月から就学前児童の一部負担を廃止し、全額支給となり、全県的に見るとやや手厚い方の部類に入っていると認識している。

現在のところ、年齢引き上げや自己負担の撤廃は難しい。

堂下 低所得者の介護保険料を見直しのなかで、減免、減額する考えはあるか。

町民部長 町の介護保険財政は大変厳しいが、改定時には検討したい。

堂下 蓮湖渚公園の工事が計上されたが、公共事業再評価委員会に諮問し、結論を出すべきだ。

産建部長 蓮湖渚公園整備事業は、引き続き進め、委員会に諮る予定はない。

堂下 鶴ヶ丘3丁目から4丁目にわたる横断歩道の青信号を数秒延ばせ。

総務部長 津幡警察署を通じて引き続き信号周期の見直しを要望したい。

堂下 源泉付近に足湯をつくり、町民の憩いと町の魅力になる、その考えは。

町長 積極的に検討していきたい。



医科大通りの横断に余裕を（鶴ヶ丘3・4丁目）

あなたの請願・陳情

採択したもの

- ◎労使協議に基づく公務員賃金決定について
- ◎乳幼児医療費助成への国保国庫負担の減額調整（ペナルティー）の廃止を求める国への意見書採択をもとめる請願書
- ◎地元建設業者の経営安定化対策の実現方について

継続審査としたもの

- ◎「市場化テスト」や「給与構造見直し」に反対する意見書の採択を求める陳情
- ◎社会保障制度の抜本的改革について
- ◎「最低賃金の引き上げを求める意見書」採択についての請願

意見書を提出

議会議案として本会議に提出された意見書 2 件は、全会一致で可決し、総理大臣をはじめ関係機関に提出。

■定率減税の廃止・縮小を中止することを求める意見書

家計負担が年々増大おり、定率減税が廃止・縮小になれば、皆増税となり、特に、子育て中の世帯や働き盛りの中堅層の増税割合が一番多くなる。

定率減税の廃止が行われれば、消費の冷え込みを招来し、景気回復にも重大な支障をきたすものであり、定率減税廃止の検討を中止することを求める。

■国民のための郵政事業改革を求める意見書

郵便局ネットワークを崩壊させ、ユニバーサルサービスを国民に提供できない郵政事業改革は実施しないこと。また、改革の論議は、国民に情報提供した上で、地域住民等の声を反映させ、国民の参加・理解できる方策を講じるとともに、日本郵政公社の経営改革の取組み等を見守り、早急に経営形態の見直し等を行わないこと。

用語解説

ユニバーサルサービスとは

国民生活に必要な不可欠なサービスで、誰もが利用可能な料金など適切な条件で、あまねく日本全国において公平かつ安定的な提供の確保が図られるべきサービスと定義されます。

ありや～
どうなったがいね～

果樹を植えよ

林帯遊歩道は、安らぎを感じる憩いの空間である。果実のなる木を植樹して、子どもたちに学校教育だけでなく、家庭でも教育の場として、取り入れられるよう広く活用を図れ。

(15年6月議会)

説明看板が必要

サンセットブリッジ周辺に、名称やライトアップの説明看板が設置されていない。

直ちに説明看板を設置し、我が町のシンボルを多くの人たちにアピールすべきでないか。

(15年9月議会)

提 案

答 弁

林帯遊歩道は、町民の皆さんに重宝されている。コミュニケーションを図る場として、多くの人々が利用する場であり、さらに活用を練りたい。

町民をはじめ、多くの県民が訪れる町の最大の観光スポットである。橋の建設やライトアップの説明看板として、どの場所に設置するか検討したい。

その後



平成17年3月、コナラ（どんぐり）の木が植樹された。



平成17年3月、サンセットパークの敷内に設置された。

